



がん緩和ケアに 役立つ漢方医学

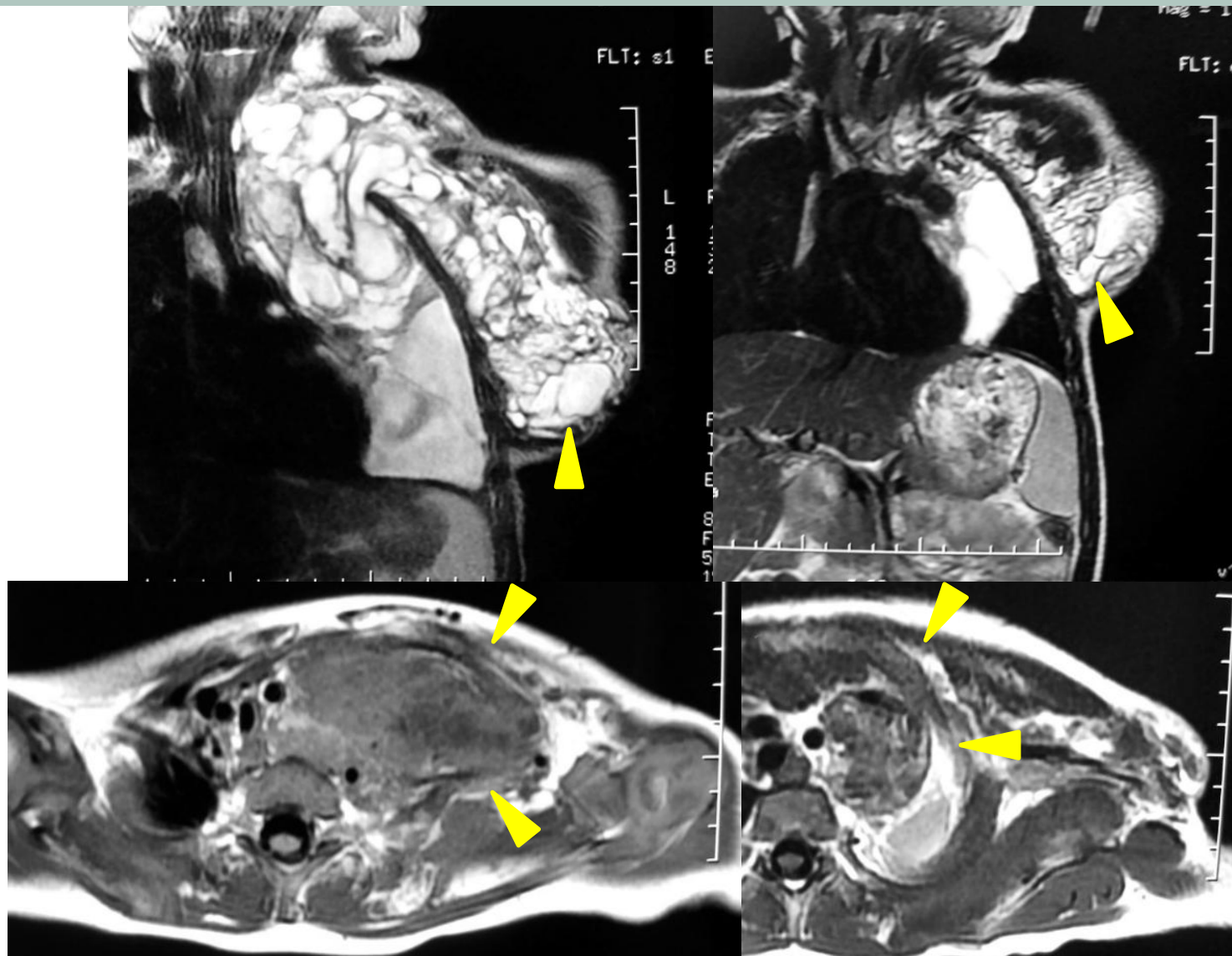
広島大学病院漢方診療センター
広島大学大学院医系科学研究科 漢方医学講座
小川恵子

2 years-old boy
with

Lymphatic Malformation

Ogawa K, et al.

J Altern Complement Med. 2011



Western

■ **mTOR 阻害薬**

副作用

Thrombocytopenia,
edema, anorexia,
heart problems, etc.

費用

2,000-3,000 Yen / day

Kampo

■ **越婢加朮湯**

No serious side effects.

Indicated for nocturia,

麻黄 大棗 甘草
朮 生姜 石膏

金匱要略

120.75 Yen / day



血管腫・脈管奇形・血管奇形・
リンパ管奇形・リンパ管腫症
診療ガイドライン 2022

CQ36：リンパ管奇形（リンパ管腫）に漢方薬は有効か？

推奨文：

漢方薬が有効であった報告は複数あるが、有効性を確実に評価できる研究報告は現時点ではない。ただし、副作用などの合併症は少ないため、使用を検討してもよい。

推奨の強さ	2（弱い）
エビデンス	C（弱）

5. コスト評価、介入の外的妥当性評価

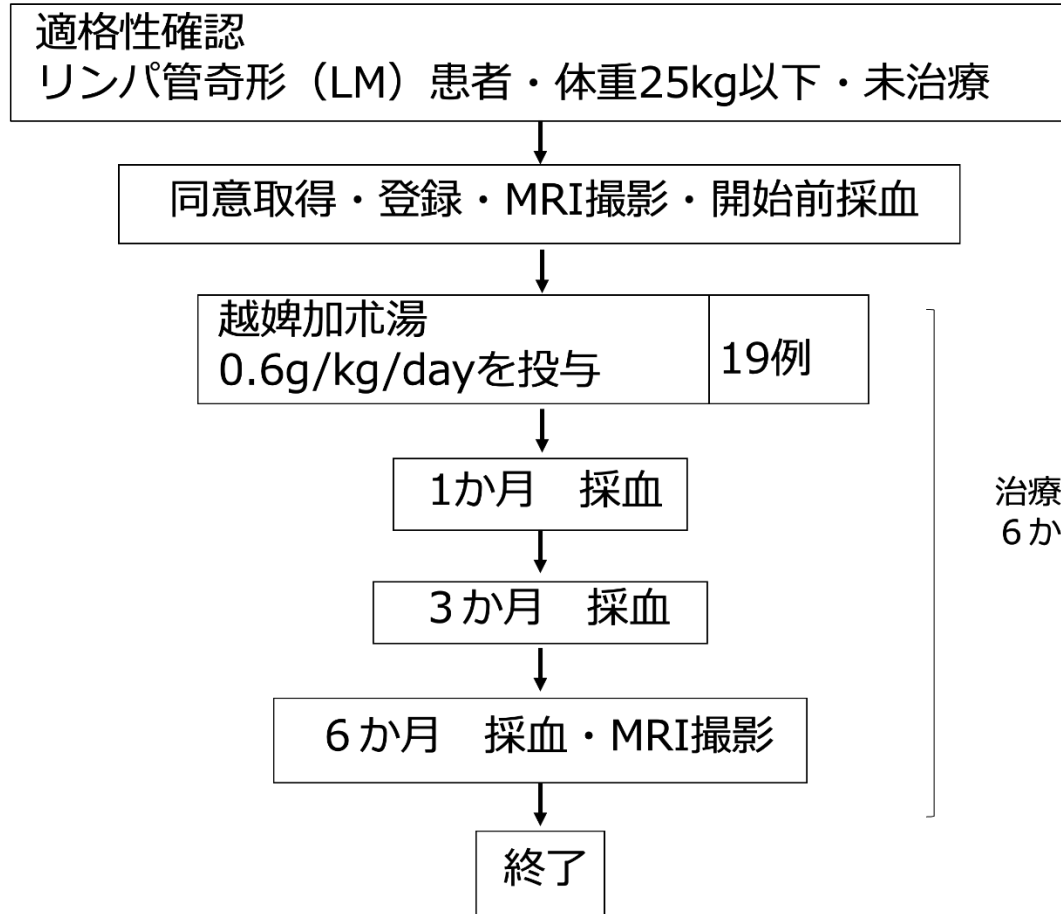
越婢加朮湯のリンパ管奇形への使用は「浮腫」に対し行われる。

詳細な適応やプロトコルは定められていない。

シロリムスと比較してコストが非常に低く、副作用も少ない。

エビデンスレベルの高い研究デザインでの検証により、

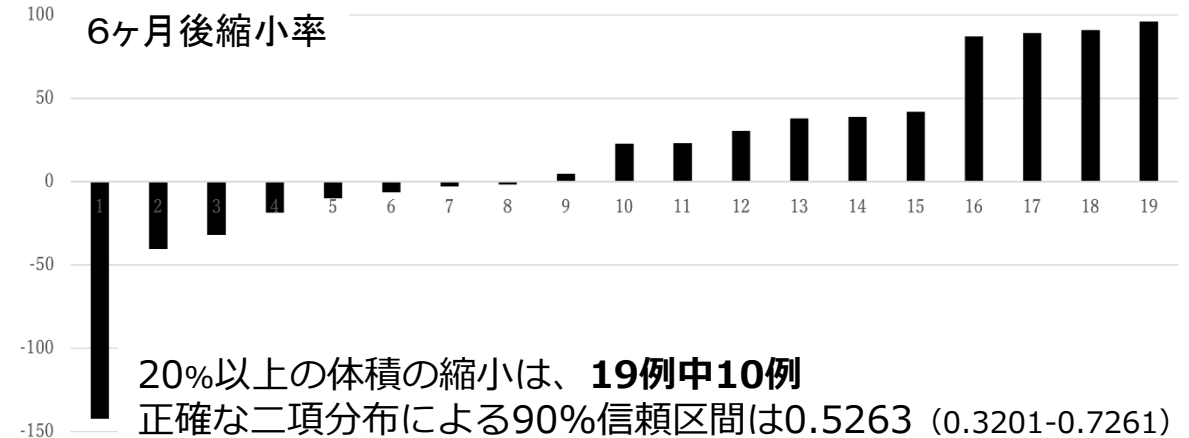
薬物療法の国内承認が期待される。



治療期間
6か月

Table1 Characteristics of the participants

	n	Mean±SD
Gender		
Male	10	
Female	9	
Total	19	
Age(month)	19	24.11±29.39
Weight(kg)		
<12.5	13	6.53±2.40
≥12.5	6	17.61±4.10
Total	19	10.03±6.04
Existing medical history		
Yes	3	
No	16	
Complications		
Yes	2	
No	17	
Site of the lesion		
Head & Neck	6	
Others	13	



JAMA NetworkOpen, 2025

CC

Diarrhea

HPI

Acute myeloid leukemia (AML) M4

▶ Bone marrow transplantation

▶ Graft Versus Host Disease (GVHD)

- Diarrhea Grade 2

- Jaundice

- Skin symptoms Grade 1

PS 3

▶ Pediatric Acupuncture



CC

Diarrhea

HPI

Acute myeloid leukemia (AML) M4

▶ Bone marrow transplantation

▶ Graft Versus Host Disease (GVHD)

- Diarrhea Grade 2→1

- Jaundice

- Skin symptoms Grade 1

PS 3→1

▶ Pediatric Acupuncture





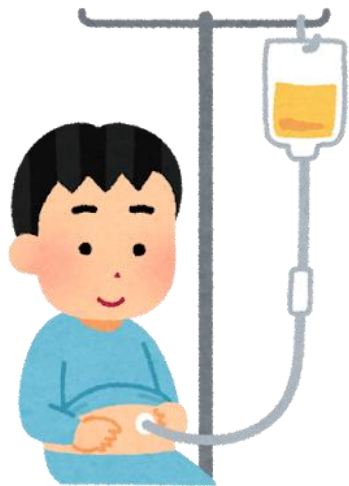
- Using Enteishin made of silver
- Rubbing, pressing, or scratching on the body surface
- Effective to treat night crying or colic
- Advantages of pediatric acupuncture
Painless, treatment short in duration



The necessity of Kampo medicine.



Even if we cannot “cure” the disease,
“palliative care” is important





広島大学病院の臨床

- 外来患者：約100名／月
- 年齢：10－80代

- 入院患者：200名（2023年6月～）



■ 症例

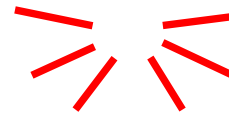
仙骨骨腫瘍 腎臓腫瘍 前立腺がん
FD（機能性ディスぺプシア）
ギランバレー症候群 神経障害性疼痛
放射線治療性疼痛 術後疼痛症
脊髄症 慢性的痺痛 直腸がん
神経線維腫症 難治性吃逆

接触鍼

① 鍼を皮膚に充てる



② 非侵襲性の刺激



がん化学療法に伴う末梢神経障害に対する 接触鍼の効果 (eCAM, 2013)



Research Article

Efficacy of Contact Needle Therapy for Chemotherapy-Induced Peripheral Neuropathy

Keiko Ogawa,¹ Masao Ogawa,² Koji Nishijima,³ Masaki Tsuda,⁴ and Genichi Nishimura³

¹ Department of Otorhinolaryngology and Head and Neck Surgery, Clinic of Japanese Oriental (Kampo) Medicine, Kanazawa University Hospital, 13-1 Takaramachi, Kanazawa-City, Ishikawa 920-8641, Japan

² Department of Anesthesiology, Kanazawa Medical University Hospital, 1-1, Daigaku, Uchinada, Kahoku-gun, Ishikawa 920-0265, Japan

³ Department of Surgery, Japanese Red Cross Kanazawa Hospital, Mima 2-251, Kanazawa 921-8162, Japan

⁴ Mukeido Acupuncture and Moxibustion Office, Niku 126-7, Horikawa, Koizumi-cho, Toyama 939-8081, Japan

Correspondence should be addressed to Keiko Ogawa; ikkandoo@gmail.com

Received 28 March 2013; Accepted 29 April 2013

Academic Editor: Yoshiharu Motoo

Copyright © 2013 Keiko Ogawa et al. This is an open access article distributed under the Creative Commons Attribution License, which permits unrestricted use, distribution, and reproduction in any medium, provided the original work is properly cited.

Cancer chemotherapy-induced peripheral neuropathy (CIPN) often results in discontinuation of treatment with potentially useful anticancer drugs and may deteriorate the patient's quality of life. This study investigated the effect of contact needle therapy (CNT) on CIPN caused by responsible chemotherapeutic agents as taxanes and oxaliplatin. Six patients with CIPN were treated with CNT. The severity of CIPN was evaluated using the Common Terminology Criteria for Adverse Events (CTCAE) version 4 and FACT/GOG-Ntx before and after CNT. After the treatment, all of the patients showed some improvement. Four patients showed apparent improvement in breakthrough pain. One of the cases had difficulty in walking because of CIPN in lower extremities, but after 2 times of CNT, he could walk without pain and could continue the chemotherapy. Although its putative mechanisms remain elusive, CNT has strong potential as an adjunctive therapy in CIPN. Well-designed clinical trials with adequate sample size and power are necessary to confirm the findings of this study.

- CNT shown to be effective for cancer patients with CIPN

- Reduce break through pain (83% of patients)

- Reduce neuropathy scores (66% of patients)

The effect of contact needle technique on cancer related fatigue in patients with cancer in palliative care: a randomized controlled trial

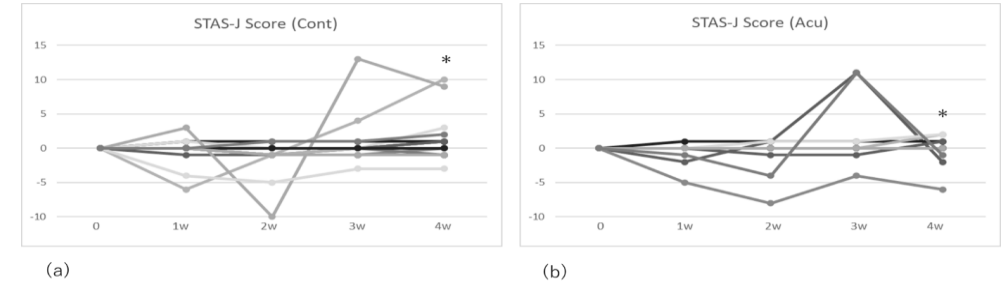
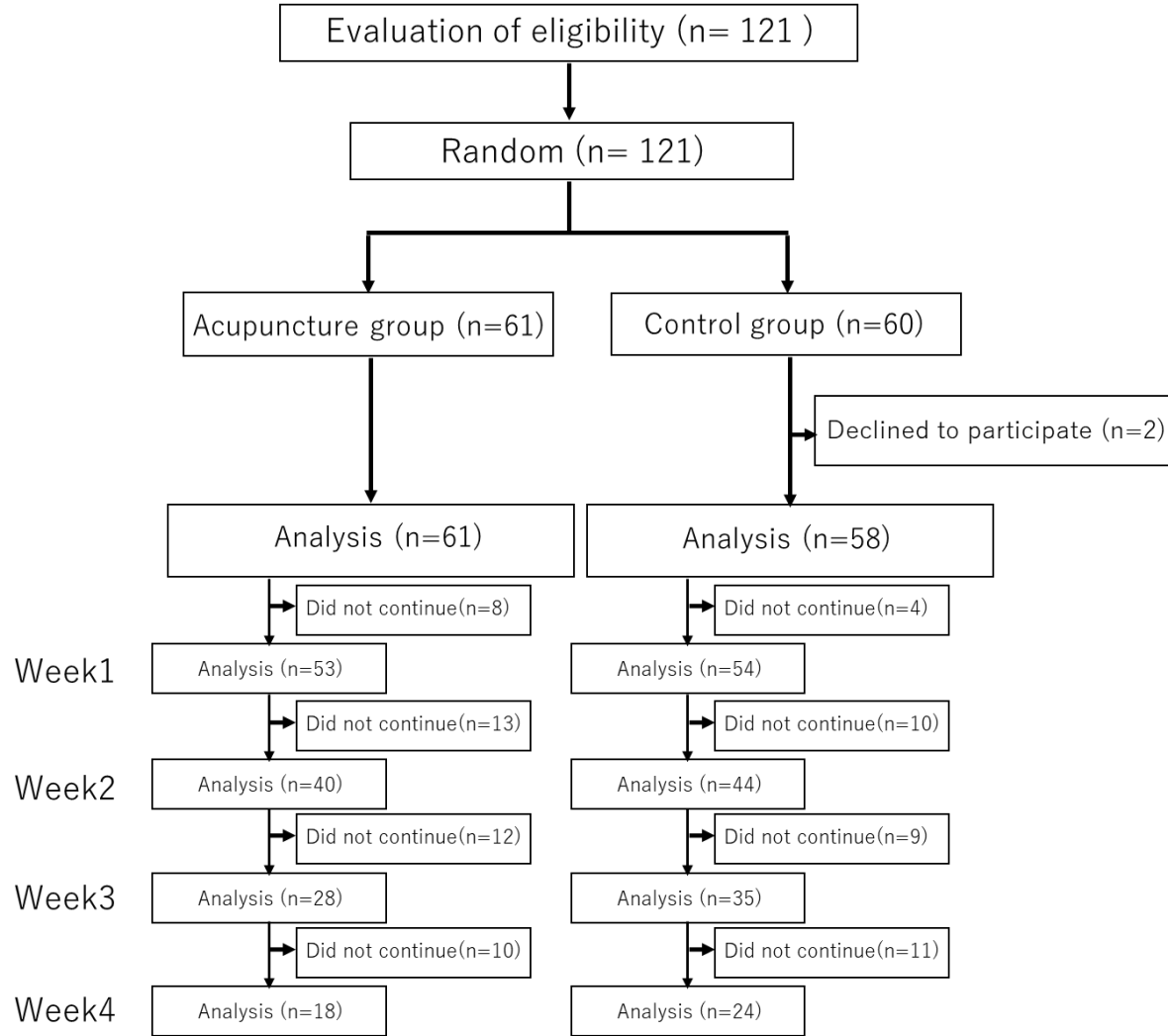


Figure 1. STAS-J Individual changes in Support Team Assessment Schedule - Japanese version(STAS-J) scores over 4 weeks in the control group (a) and acupuncture group (b).

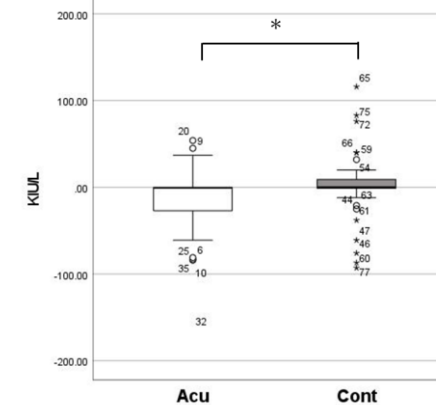


Figure 2. Salivary amylase Individual changes in Salivary amylase at 2 weeks in the acupuncture group (Acu) and control group (Cont)(c).

(日本の伝統的な鍼治療法である接触鍼療法の皮膚の末梢血流に対する有効性に関する研究)

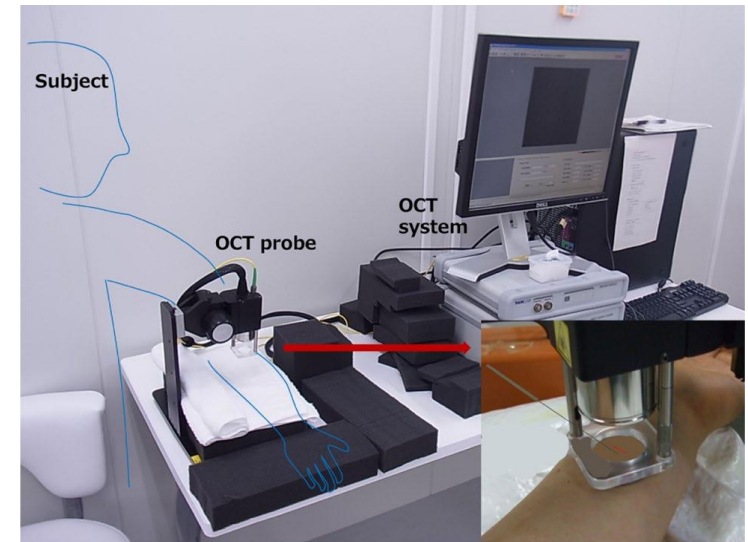
The efficacy of a traditional Japanese acupuncture method, contact needle therapy (CNT), on peripheral blood flow of the skin

方法及び結果

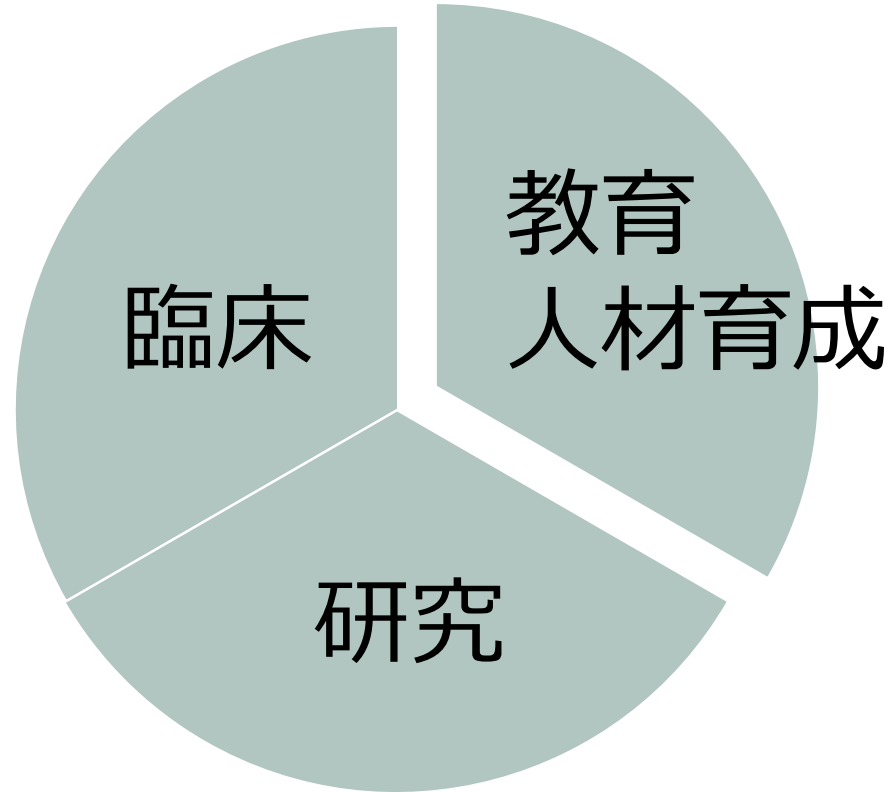
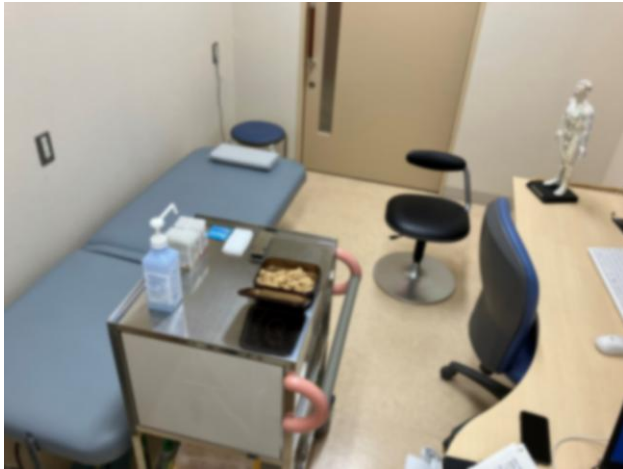
- ・測定部位（前腕内側）の皮膚に傷や疾患のない4人の健康な男性を対象に、皮膚を、CNT前、CNT中、CNT直後、CNT1分後に光干渉断層撮影（OCT）で測定した。
- ・OCT血流信号（150～500 μm ）はCNT中に徐々に増加し、CNT直後は治療前と比較して有意に増加した（ $P < 0.05$ ）。

考察

CNT後に皮膚の血流が有意に増加し、特に皮膚表面から300～350 μm の深さで増加した。このことは、皮膚の水分量の増加と皮膚の外観の改善につながる可能性がある。CNTが皮膚の状態に影響を与え、改善できると考える。



K Ogawa-Ochiai, AROB, 2020



Case 肺がん放射線治療後の照射部疼痛が 漢方薬と鍼灸の併用により改善した1例

- 70代 女性
- 主訴 右乳頭～側胸部・背部にかけてのRT照射部位の疼痛
- 内服 柴陷湯 加味帰脾湯
- 所見 脈診
右 (寸)やや浮数按じて渋 (関) やや数大按じて渋無力 (尺) やや数細按じて渋
左 (寸)やや数弦按じて細渋 (関) やや数弦按じて無力 (尺) やや数弦按じてやや細渋
舌診：舌色紅 白苔
腹診：胸脇苦満
- 証 肝虚証
- 治療 接触鍼による治療
- 経過 初診 (NRS：5) → 5診目 (NRS: 0) 鍼灸治療終了

鍼灸師が医療連携の中で活躍することに、どのような意義があるのか

鍼灸治療が患者・社会に貢献できることは多い

リラクゼーション 疼痛コントロール

術前術後ケア

健康増進

精神疾患

女性の健康支援

不定愁訴

スポーツ障害

身体表現性障害

フレイル予防

未病ケア

産前産後ケア

小児ケア

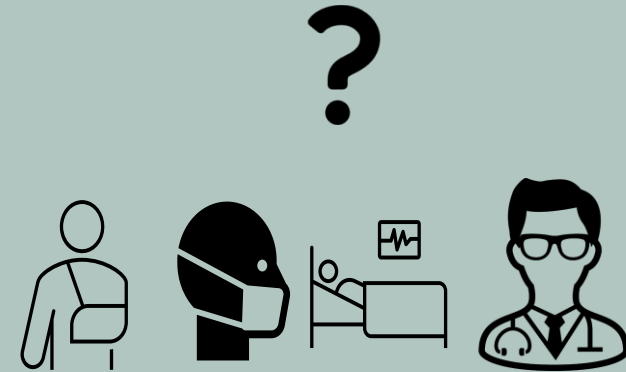
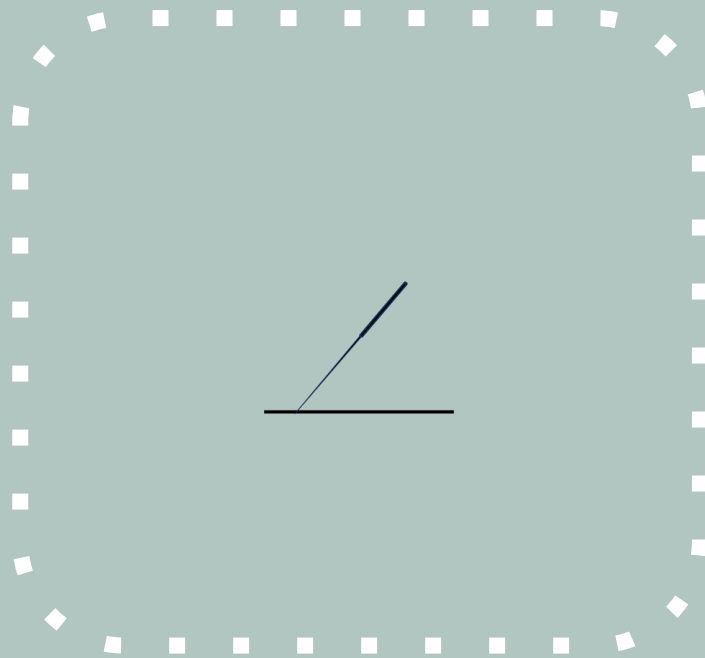
機能的心身症

美容

緩和ケア

器質的心身症

現代の日本では必要な人に鍼灸治療が行き届いていない (十分に患者・社会に貢献できていない)



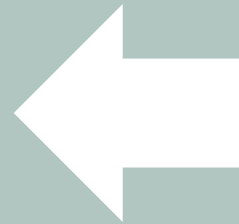
鍼灸の受診(紹介)先がわからない

患者・医師・鍼灸師にとっても

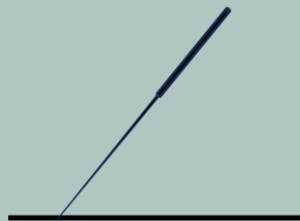
¹ 2012年度の調査では1年間で1回以上鍼灸治療を受療したのは人口の7.3%でした。

矢野 忠.国民から見た 21 世紀初頭の日本鍼灸とは - 2002 年度と 2012 年度の 10 年間での変化について - 社会鍼灸学研究 2013 (通巻8号)

- 医療機関での経験が少ない
- 現代医学知識が十分ではない
- 伝統医学の理解が十分ではない
- 医療者として認知されていない
- 医療連携できる鍼灸師の基準がない



1. 追加の教育・研修を提供する
2. 医療現場での活躍の場を拡大する
3. 医療連携できる鍼灸師の基準を設ける



鍼灸師



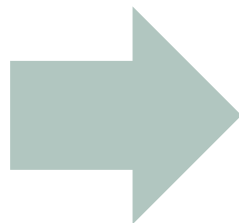
漢方診療センター

鍼灸師の 教育の不十分

1. 漢方医学の専門家として
多職種に客観的な説明が
十分にできない。

2. 医療連携を前提とした
教育を受けていない

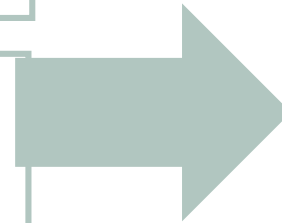
3. 現代医学的知識が乏しい



卒後教育制度が必要

医療連携できる 為の知識の不足

1. 漢方医学の専門家として多職種に客観的な説明が十分にできない
2. 医療連携を前提とした知識が十分でない
3. 現代医学的知識が乏しい



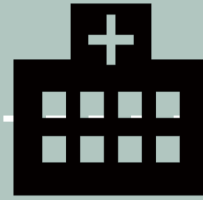
漢方診療センター での取り組み

病院内鍼灸師研修制度

漢方医学研修プログラム

広島大学

漢方診療センター



病院
医療従事者



情報共有
助言



整形外科
緩和ケア
内科
外科消化器科
担当医
etc.



漢方専門医



漢方薬剤師

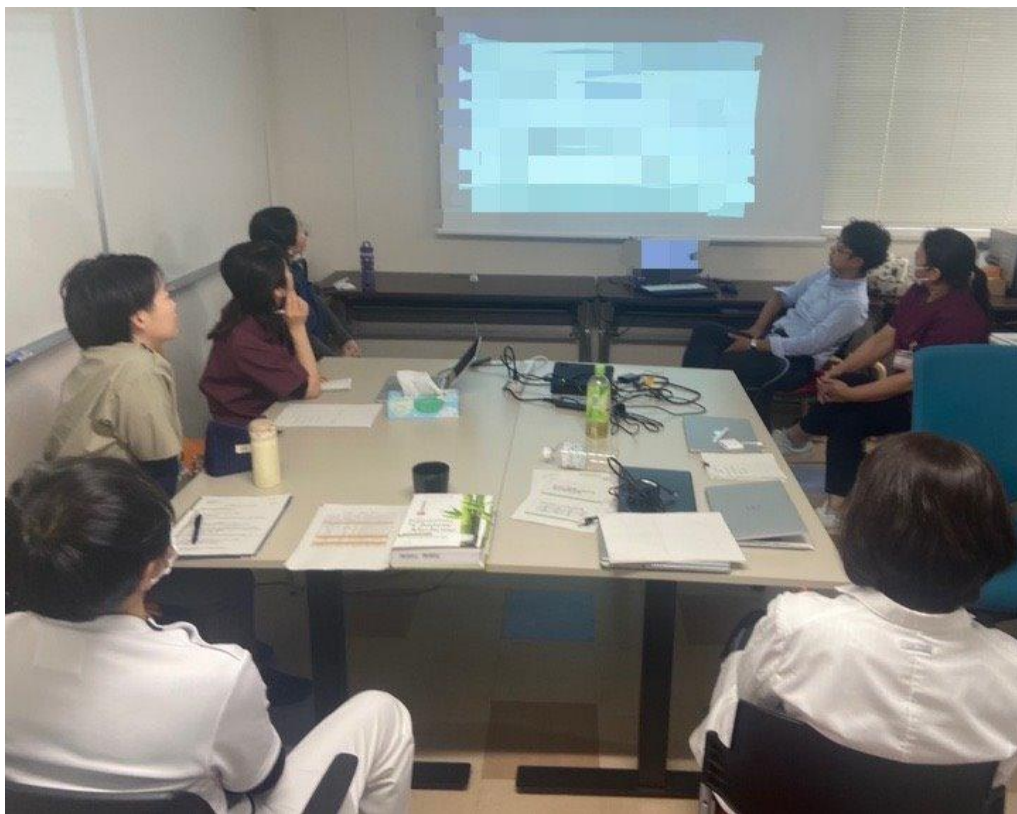
鍼灸師



漢方専門医
地域のクリニック



鍼灸師
地域の鍼灸院



漢方診療センターカンファレンスの様子

- 漢方古典の輪読
- 経方医学に基づいた鍼灸治療トレーニング
- 外来見学
- 病院職員への鍼灸治療
- 現代医学に関する講義
- 論文要約
- 多職種チームのカンファレンスへの出席
- 症例報告・学会発表
- 臨床研究の補助

研修

大学病院にて
1～2年間の研修

その後

- 広島大学病院に就職する
- 大学院に進学し研究を行う
- 連携病院の鍼灸院にて勤務する
- 鍼灸院を開業し、
地域の医療施設と連携をする

など

継続可能な
「漢方の医療連携」



対面講座

経方実技【四診・鍼灸】(全6回3日間)

経方理論に基づく四診・鍼灸治療をする手を作る練習会です。少人数制の充実した反復練習によって、漢方医学的な所見の取り方、評価、主に接触鍼を使った鍼治療の技術を身につけます。



春期か秋期を選択し、
3日間の実技練習会に参加します。

春期：①4/29(日)②5/25(日)③6/29(日)
13:00-17:00

秋期：①8/11(日)②9/23(日)③10/13(日)
13:00-17:00

会場：広島大学病院 霞キャンパス
広島県広島市南区霞1丁目2-3

修了認定

プログラムの全過程を修了したことを認定します。
カルテ作成、症例発表、基礎医療知識のテスト、
医療面接から施術の審査を行います。
実施方法：オンラインと対面（広島市内）で実施。
日程：9月、11月

オンライン講座

漢方理論講座【入門】(全3回)

経方理論を学ぶ前に漢方医学の基礎を学ぶ講座です。
講師：広島大学病院漢方診療センター 医師

経方理論講座【四診・鍼灸】(全6回)

経方理論に基づく四診と鍼灸の理論を学ぶ講座です。
講師：広島大学病院漢方診療センター小川 恵子先生

漢方古典講座(全35回)

背景や思想を読み解くことで曖昧に見える古典理論
を整理し、現代における応用法を探求します。
講師：広島大学医学部 客員准教授
宮川 浩也 先生(日本黄帝内経医学会)

漢方薬講座(全10回)

漢方薬剤師の視点から、症例や各種生薬の特徴、調
剤技術を学ぶ講座です。
※9/28に広島市内にて「生薬づくり実習」を開催。
講師：広島大学医学部 客員准教授
笹木 司 先生(漢方のマツヤ薬局 代表)

医療連携講座(全2回)

SOAP形式で診療録を記録する方法と鍼灸師が持つ
べき基礎的な医療知識を学ぶ講座です。
講師：広島大学病院 漢方診療センター 医師

症例検討会(隔月全6回)

受講生が自身の症例を紹介し、参加者全員で診断や
治療方針について意見を交わします。

漢 隋唐 宋 元金 明 清 現代

漢 黄帝内経
 神農本草経
 傷寒雑病論
 諸病源候論
 千金方
 校正医書局
 太平惠民和劑局方
 元金 張從正
 四大家 劉完素
 大家 李東垣
 朱丹溪
 明 万病回春
 景岳全書
 本草綱目
 清 医宗金鑑
 温疫論
 温病条弁
 現代 医学衷中參西録
 中医学宣言

平安 鎌倉 安土桃山 江戸 明治 昭和 平成

平安 医心方
 鎌倉 福田方 万安方
 安土桃山 曲直瀬道三
 江戸 後藤良山 吉益東洞
 明治 森道伯 帝国議会議決議
 昭和 大塚敬節 奥田謙三 矢数道明
 平成 江部洋一郎

漢方診療センター設立



漢方医学、現代医学の統合を発信し、世界平和に貢献

